

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	おーらじえい		
	オーラJ		
代表者職・氏名	代表・坂田誠山		
制作団体所在地	〒151-0072		
	東京都渋谷区幡ヶ谷 2-29-5 五味楽器ビル1F		
電話番号	050-5858-9016	FAX番号	050-5437-5330
ふりがな 公演団体名	おーらじえい		
	オーラJ		
代表者職・氏名	代表・坂田誠山		
公演団体所在地	〒151-0072		
	東京都渋谷区幡ヶ谷 2-29-5 五味楽器ビル1F		
制作団体 設立年月	1998年 9月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表:坂田誠山 運営幹事:佐藤容子(音楽部門)、門脇央知(事業部門) 監事:森博明	日本音楽及びアジア音楽に関わる、演奏者、作曲家、評論家、企画者等の実演者及び制作者。これらの実績を有する、又は志す個人・団体。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	門脇 央知
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	坂田 誠山

制作団体沿革	1993年に日中韓三国の代表的民族楽団が提携して、東北アジアの民族楽団「オーケストラ アジア」が企画され、その後98年に「オーケストラ アジア・ジャパンアンサンブル」として日本楽器を主とする活動を開始。2000年からは、「オーケストラ アジア」から独立し、名称を『オーラJ(AURA-J)』と改め、毎回明確なテーマを持った自主定期公演を実施する演奏団体として活動している。 現在までに36回の自主定期公演を行い、新しいアプローチによる日本音楽の作品を創作、上演。また、北杜国際音楽祭では全国現代邦楽合奏団コンベンションのホスト団体を務め、全国のアマチュア邦楽演奏家への講習などを行った。他に、全国で学校公演を多数実施し、国立劇場主催公演や、各作曲コンクール、地方自治体主催公演など多数の受託公演へも参加。一方で、ハワイ大学、テキサスTAM大学など多数の海外機関より招聘され公演や講習会などを実施し、海外からの実演家留学生の受け入れも行っている。				
学校等における公演実績	徳島、長野、茨城、鳥取・島根・山口・広島・岡山・三重・和歌山・大阪・千葉・東京など各地にて多数実施。小中学校以外にも、高校、国内外の大学における公演実績もあり。				
特別支援学校における公演実績	文化庁事業での多数の公演以外では、徳島県立ひのみね養護学校での公演がある。その他に、聴覚障害学級、特別支援学級での実施実績もあり。				
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有		
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	無		
		※公開資料有の場合URL			
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:			
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料	有		
		※公開資料有の場合URL	https://officekadowaki-my.sharepoint.com/:f/g/personal/o		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
	PW:	kodomo2022			

【公演団体名 オーラ】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目 安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		1 時間程度	
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～10時	13時30分～15時	10分	15時～15時30	15時30分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		1-500人(100名以下を推奨いたしますが、多人数でも対応可)			
	本公演		1-750人(体育館のスペースによります)			
ワークショップ 実施形態及び内容	・楽器や鑑賞ポイントについての解説 ・本公演で共演する演目の指導 本公演で共演する演目の説明と準備をします。こういった指示の時に、こういった演奏(行動)をすれば よいか、具体的に説明します。 ・楽器の鳴らしかた体験 こちらが用意した体験用尺八を体験してもらいます。					
ワークショップ 実施形態の意図	本公演を効果的に鑑賞するための事前解説を、実演を交えながら行います。共演プログラムで参加する 演目の指導では、子どもたち自身が出す音がどのような音で、どうやって出すかを考えます。指導者とコ ミュニケーションを取り、尺八奏者と楽曲を作り上げることで、自分の役割を認識し、合奏する楽しみや、 発音(演奏)する楽しみを感じてもらいます。楽器の鳴らし方体験では、実際に楽器に触れてもらって、尺 八の仕組みや特徴を感じてもらいます。おおそ簡単には音がでないと思われそうですが、音を出すために創 意工夫することや、身の回りにある類似構造の物でも発音できること、実際に音が出たときの喜びなどに より、興味や好奇心を持つきっかけを作ります。					
特別支援学校での 実施における工夫点	受講生の状況により、体験が難しければ、演奏を増やすなど状況に応じて時間配分を変更します。また、 吹く行為が難しければ、運指による音の変化などを体験してもらいます。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 オーラJ 】
演目概要	日本の伝統楽器である尺八は、古くから、自然と一体となる音色を持ち合わせていました。このコンサートでは、日本の風土に即した、日本固有の音色を感じてもらいたいと思います。 形態は独奏から三重奏までの尺八演奏を主としますが、一部では篠笛などの他の伝統管楽器も使用します。尺八本来の持つ豊かな音色と、迫力のある演奏を三人の尺八奏者が演奏します。また、鑑賞の補助として視聴覚資料(プロジェクター使用)を用いた解説を併用し、コンサートをわかりやすく進行します。 ・楽器の解説 まずは日本に伝わる伝統的な管楽器を紹介します。尺八の他に、篠笛・能管・龍笛などは実際に音を出して紹介します。その他の各種の日本の笛は視覚資料にて紹介します。日本に伝わる笛にはどのようなものがあり、どのような場面で使い分けしているのかを解説します。 ・鹿の遠音・鶴の巢籠 尺八の古典曲を鑑賞してもらい、伝統的な音楽に触れてもらいます。この曲は名前の通り、自然の動物からモチーフを得ており、特徴的な情景描写を含みます。演奏と合わせて、特殊奏法や、曲の聞き所を解説し、曲自体の理解を深められるようにします。 ・子供のためのポップスメドレー 古典音楽という、現代ではあまり身近ではない音楽を聞いた後で、尺八という楽器でも現代の流行曲や定番曲を演奏できることを実感してもらいます。前半は古典的で少し難しいと感じる部分があったかもしれませんが、少し楽にして耳に馴染んだ曲を聞いて、尺八に親しみを持ってもらいたいと思います。また、古典音楽との違いについても感じ取ってもらいます。 ・ソネット ここでは現代の純粹芸術音楽を鑑賞してもらいます。尺八音楽の新しい形ですので、尺八の可能性や、尺八音楽の芸術的魅力を感じてもらい、楽曲そのものの音楽的魅力に触れてもらいたいと思います。 ・Doldrums IIIb ～尺八と聴衆のための協奏曲～ この曲はその名の通り、尺八と観客が一緒になって作り上げる楽曲です。風の音、雨の音、風雨合わさった音などを観客が発生させ、尺八と一つになり楽曲を完成させます。観客とその場を一体化させるために、不思議な装置を使用するなど、観客参加以外にも楽しい見どころがあります。	

にほんのしぜんおと 尺八

じょうえんえんもく
上演演目

1. 楽器解説「尺八のしくみと歴史」

尺八という楽器のしくみや歴史をお話します。尺八以外の日本の笛も少しだけ紹介します。

2. 尺八の古い曲「鶴の巣籠」、「鹿の遠音」

古くから伝わる、尺八の曲です。名前の通り、自然の景色を尺八で表現しています。昔の日本人は、感じた景色をどのように音楽にしたのでしょうか。表現方法に耳を傾けて下さい。

きゅうけい
休憩

3. 「子供のためのポップスメドレー」

前半は古い曲を聞いてもらったので、みなさんも知っている音楽を尺八で演奏します。聴き慣れない音楽が続きましたので、力を抜いて楽しい気分で聴いて下さい。

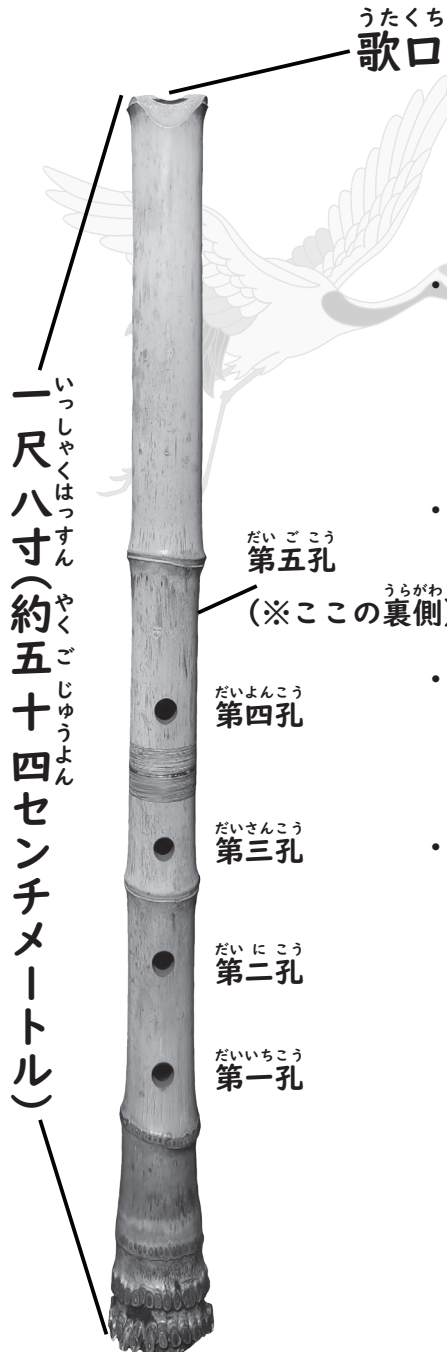
4. ソネット（Ⅰ - Ⅴより）三木 稔 作曲

20世紀後半に作曲された尺八の曲です。古い曲とはどう違うのか、聴き比べてみましょう。

5. Doldrums III b ～尺八と聴衆のための協奏曲～ 山本 和智 作曲

この曲は、題名の通り聴衆（観客）と演奏者（尺八）が一体となって演奏します。みなさんは風の音や雨の音の表現で参加して下さい。現代に暮らしている皆さんが、自然の風や雨をどう感じているか。皆さんの表現方法によって、演奏が決まります。

しゃくはち こうぞう 尺 八の構造



たけ ふし ぬ つつじょう うたくち ふ ぶぶん なな
・竹の節をくり抜いて筒状にし、歌口（吹く部分）を斜め
けず たんじゆん こうぞう
に削っただけの単純な構造です。

おもて あな うら あな
・表に4つの孔、裏に1つの孔があいています。

だいごこう
第五孔
(※ここの裏側)

おお ば あい うちがわ うるし ぬ
・多くの場合、内側には漆が塗ってあります。

だいにこう
第四孔

なが いっしゃくはっすん やく いっしゃく
・長さが一尺八寸（約54センチメートル）のため、一尺
の「尺」と八寸の「八」を取って「尺八」と言います。
しゃく はっすん はち しゃくはち い
標準の長さは一尺八寸ですが、それ以外の長さもあり、
ひょうじゆん なが いっしゃくはっすん い がい なが
みじか たか おと なが ひく おと だ
短いと高い音、長いと低い音が出せます。

だいさんこう
第三孔

だいにこう
第二孔

だいいちこう
第一孔

むかしひとびと にほん しぜん おんがく ひょうげん にほん ふうけい
昔の人々は、日本の自然を音楽で表現してきました。そんな日本の風景
しゃくはち えんそう かん しゃくはち にほん ふる がっ き
を尺八の演奏で感じてみましょう。また、尺八は日本に古くからある楽器
ですが、あたらしいきょく えんそう ふる きょく あたら きょく おと ちが
ですが、新しい曲を演奏することもできます。古い曲、新しい曲の音の違
いも聴き比べてみましょう。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	K148	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	F/G/H	区分	C区分
公演団体名	[C区分]オーラJ				制作団体名	オーラJ			

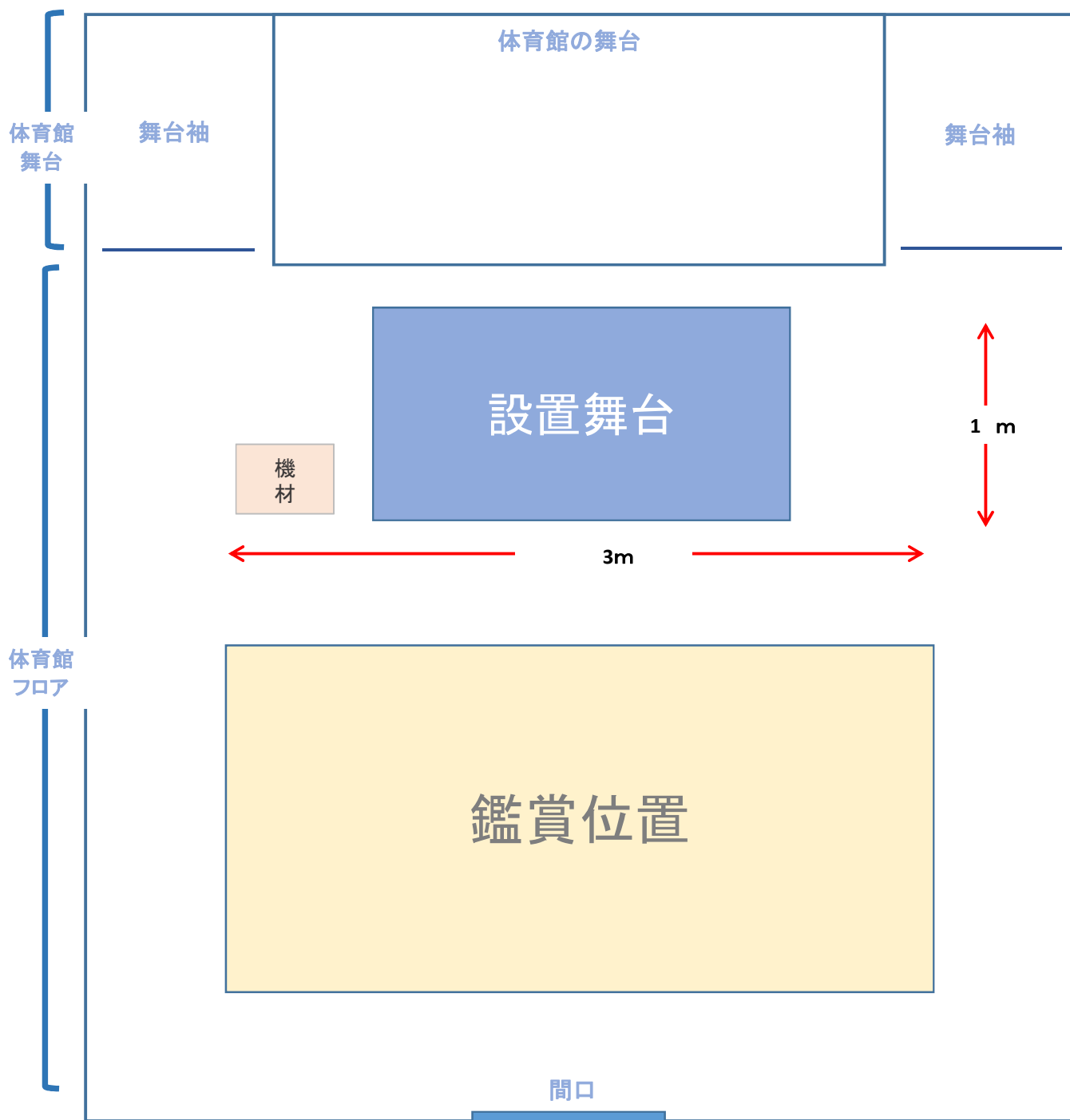
① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	1室	条件	舞台袖や空きスペースなどでも可				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			乗用車	1台			—	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			公共交通機関で行ける場合は車両無しでも可					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ								
	搬入車両の横づけの要否 *			不要				—	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			—				—	
	搬入経路の最低条件			特に無し				—	
	理由								
	設置階の制限 *			問わない					
	搬入間口について 単位:メートル		幅	0.5m		高さ	1m		可
	WSIについて	参加可能人数	500						可
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *	小学生		中学生		可	
所要時間の目安 単位:分		45-90分程度(受講人数による)						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			750					可
	舞台設置場所 *			ステージ上への設置・フロアへの設置ともに対応可能				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	3m	奥行	1m	高さ	2m	可	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要				—
		舞台袖スペースの条件 *							—
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—	
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由			—	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面に て御確認ください。			—	
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量		15A	※主幹電源の必要容量				可	
	その他特記事項							応相談	
	観客が収容できれば、体育館以外のスペースでも公演可能です。							—	

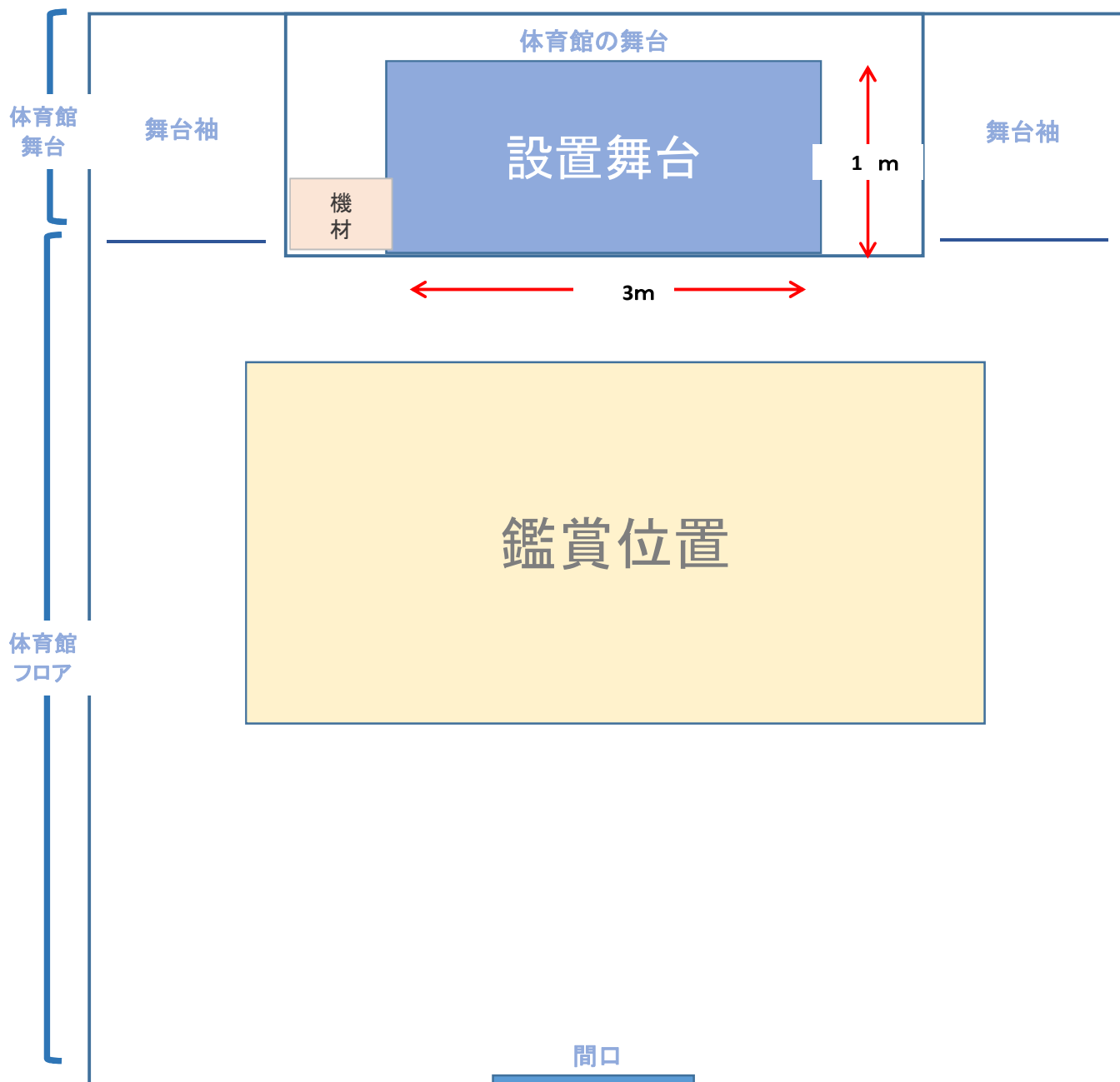
会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	0.5m	高さ	1m
搬入車両の横づけの要否		不要		
横づけができない場合の搬入可能距離		-		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。



フロア使用時



舞台使用時